

## 臨床医学概論

責任者・コーディネーター	臨床医化学講座 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	生理学講座統合生理学分野、内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野、内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野、超高磁場MRI診断・病態研究部門、皮膚科学講座、泌尿器科学講座、耳鼻咽喉科学講座、産婦人科学講座、脳神経外科学講座、小児科学講座、放射線医学講座、口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野、臨床検査医学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

6年制薬剤師教育においては、医療現場で活躍する薬剤師を育てる医療薬学が重視されている。「臨床医学概論」では、医学部・歯学部教員による基礎医学、臨床医学の講義により、医学・歯学の現場での「診療・研究」について学び、医療現場で必要になる知識や技能の習得を目指す。また現在の医学、医療が解決しなければならない問題点についての理解を深める。

### ・一般目標（GIO）

本講義では、医療現場で働く岩手医科大学附属病院の医師・歯科医師の解説により、様々な分野における主要な疾患について原因、検査、診断、治療方針などを学び、良質で効率的で安全な医療を実践するため、臨床薬剤業務に必要な基本的な医学知識を習得することを目的とする。また、薬剤師としてチーム医療に携わる心構え、コミュニケーション法についても理解を深める。

### ・到達目標（SBO）

1. 基礎医学・臨床医学の基本概念を学び医療のしくみを知る。
2. 医療に求められる技能、態度、倫理、安全性を理解できる。
3. 現代医療の現状と役割について理解できる。
4. 体の仕組みを学び、病気が患者に及ぼす影響について概説できる。
5. 様々な疾病の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。
6. 診察から治療までの流れを理解し、その中で薬剤師が果たす役割について概説できる。
7. 現代医学・医療が直面している問題点を理解できる。
8. チーム医療に求められるコミュニケーション能力の重要性を理解できる。

### ・講義日程

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/7	月	3	生理学講座 統合生理学分野	久保川 学 教授	腎臓の生理学と医療
4/14	月	3	内科学講座心血管・腎・内分泌 内科分野	中村 元行 教授	診断と治療1（循環器疾患）

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/21	月	3	超高磁場 MRI 診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	診断と治療 2 (トランスレーショナルリサーチ)
4/28	月	3	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	山内 広平 教授	診断と治療 3 (呼吸器疾患)
5/7	水	3	泌尿器科学講座	丹治 進 准教授	診断と治療 4 (腎・泌尿器・生殖器疾患)
5/12	月	3	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	診断と治療 5 (皮膚疾患)
5/19	月	3	耳鼻咽喉科学講座	志賀 清人 教授	診断と治療 6 (頭頸部疾患)
5/26	月	3	放射線医学講座	有賀 久哲 教授	診断と治療 7 (放射線腫瘍学)
6/2	月	3	産婦人科学講座	庄子 忠宏 特任講師	診断と治療 8 (産科・婦人科疾患)
6/23	月	1	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	診断と治療 9 (脳神経系疾患)
6/23	月	4	小児科学講座	松本 敦 助教	診断と治療 10 (小児疾患)
6/27	金	3	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学 分野	杉山 芳樹 教授	診断と治療 11 (口腔疾患)
6/30	月	3	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査法概論 1
6/30	月	4	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査法概論 2

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病 II.薬物治療 (1)」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 5,300 円)	2005
教	薬剤治療学 改訂第2版	吉尾 隆 他 編	南山堂 (定価 8,800 円)	2013

・成績評価方法

期末試験、レポートを総合的に評価する。

・予習復習のポイント

講義においてポイントとなる点については、できるだけその日のうちに復習しておくこと。予習の必要は特にないが、細胞生理学、細胞生物学、生化学、薬理学 I などの基礎薬学で学習した内容については、再確認しておくことと理解の助けになります。